

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.128

環境保全課 ☎295100

気候変動への対策 〜緩和と適応〜

世界各地で強い台風やハリケーン、集中豪雨、干ばつや熱波などの異常気象による災害が発生しています。日本でも、平成25年夏には国内最高気温となる日最高気温41・0度を観測するなど、毎年記録的な暑さが続いています。さらに「平成27年9月関東・東北豪雨」や「平成29年7月九州北部豪雨」などのように、短時間強雨や大雨が発生することで、広い範囲での浸水被害や土砂災害なども発生しています。国連の報告書（IPCC第5次評価報告書）によると、世界各地で観測されるこうした異常気象などは、石油や石炭の消費による温室効果ガス排出など、人間による影響である可能性が極めて高いと結論付けられています。



▲高温によるリンゴの着色障害

出典) 1999 農研機構 果樹研究所 杉浦俊彦
JCCCA ウェブサイトから

このような気候変動への対策として、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの普及拡大などの温室効果ガスの排出抑制を行う「緩和」だけでなく、すでに現れている影響や将来に予想される影響への対処を行う「適応」を進めていくことが求められています。その適応策として、洪水・干ばつ・海面水位上昇による浸水などの災害分野では、治水や効果的な土地利用計画などが、農業分野では、高温耐性品種の開発などが挙げられます。社会として気候変動の影響のリスクを避けるために適応は必要なことです。将来の適応コストを少なくするためにも、まずは温暖化の進行をできるだけ抑えることが重要です。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
環境事業所 ☎317710
総合支所



▲普段は焼却ごみに出す物もリサイクルできます

シュレッダー処理をした紙も
資源品に出すことができます

はがきやお祝いなどのメッセージカードや、宛先の書かれた封筒も「資源品」雑がみ類に出しましょう。個人情報が気になるなどの理由からシュレッダー処理した紙も、紙袋に入れて飛散しないようにゼロハンテープまたは紙製のガムテープで留めれば、雑がみ類に出すことができます。その他にも祝儀袋（水引きは除く）やポチ袋、贈答品の包装紙、カレンダーなども雑がみ類に出しましょう。ただしインクジェット写真用はがきや圧着はがきは、特殊な紙を使用しており資源化しにくいので「焼却ごみ」に出してください。ごみを減らし、限りある資源を大切に利用するために、古紙は「資源品」に出してリサイクルしましょう。

■ごみ処理家計簿

減量効果		9月分
前年	処理費用換算	+317万円
同月比	排出量（市民1人1日当たり）	+24g(863g)

処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります